

表1 昭和63年度進路状況（公立全日制）

就職者数は就職進学、就職入学者数含まず（ ）は前年度

学科別	区分 性別	卒業者数	大学等 進学者数	大学等 進学率	就職者数	就職率	各種学校等 入学者数 (予備校 を含む)	各種学校 等入学率	無業者 その他	就職進学 者数 (大学)	就職入 学者数 (各種)
普通科	男	6,275	1,964	31.3 (29.1)	1,834	29.2 (28.9)	2,014	32.1 (35.4)	463	5	14
	女	7,885	2,742	34.8 (34.7)	3,058	38.8 (37.7)	1,763	22.4 (23.3)	322	49	193
	計	14,160	4,706	33.2 (32.1)	4,892	34.5 (33.7)	3,777	26.7 (28.8)	785	54	207
農業科 水産科	男	1,028	29	2.8 (4.4)	870	84.6 (81.6)	110	10.7 (12.7)	19	0	4
	女	338	20	5.9 (4.5)	277	82.0 (83.1)	29	8.6 (6.5)	12	5	9
	計	1,366	49	3.6 (4.5)	1,147	84.0 (82.0)	139	10.2 (11.2)	31	5	13
工業科	男	2,756	155	5.6 (6.2)	2,277	82.6 (82.3)	274	9.9 (10.1)	50	2	3
	女	290	10	3.4 (3.1)	251	86.6 (89.5)	22	7.6 (5.0)	7	0	0
	計	3,046	165	5.4 (5.9)	2,528	83.0 (82.9)	296	9.7 (9.7)	57	2	3
商業科	男	1,237	107	8.6 (9.8)	886	71.6 (69.3)	230	18.6 (17.3)	14	3	1
	女	1,518	109	7.2 (6.5)	1,211	79.8 (80.3)	164	10.8 (11.7)	34	4	31
	計	2,755	216	7.8 (7.9)	2,097	76.1 (75.6)	394	14.3 (14.1)	48	7	32
家庭科	女	876	104	11.9 (7.3)	607	69.3 (74.8)	140	16.0 (12.5)	25	15	34
理数科	男	107	46	43.0 (44.8)	15	14.0 (16.4)	41	38.3 (34.5)	5	0	0
	女	8	4	50.0 (100.0)	0	0.0 (0.0)	4	50.0 (0.0)	0	0	0
	計	115	50	43.5 (48.0)	15	13.0 (15.4)	45	39.1 (32.5)	5	0	0
全日制合計	男	11,403	2,301	20.2 (19.6)	5,882	51.6 (50.4)	2,669	23.4 (25.5)	551	10	22
	女	10,915	2,989	27.4 (26.8)	5,404	49.5 (49.4)	2,122	19.4 (19.8)	400	73	267
	計	22,318	5,290	23.7 (23.1)	11,286	50.6 (49.9)	4,791	21.5 (22.7)	951	83	289

トから年々増加し、五十六年度に一時減少が見られるものの、五十七年度から再び増加に転じ、六十三年度は六十九・七パーセントと四十九年度以来最高を示した。(二十ページ図2参照)

二、進路状況について

(一) 大学・短期大学への進学(表1・2・3、図1の①参照)

大学等進学者数は、男子二千三百一人(進学率二十・二パーセント)、女子二千九百八十九人(同二十七・四パーセント)、計五千二百九十九人(同二十三・七パーセント)である。

男子の大学進学者(国・公・私立大学)は二千五百十人で女子の千二百二十八人を大きく上回っているが、逆に短期大学への進学者は女子が千八百四十四人で男子の百十人を大幅に上回っている。例年、大学等への女子の進学率が男子を上回っているのは、短期大学への進学者が多いことによる。特に六十三年度は、男子の大学等進学率が二十・二パーセントと、四十九年度以降では四番目に低い数値を示したのに対し、女子の大学等進学率は二十七・四パーセントと、四十九年度以降四番目に高い数値を示した。男子は大学等進学率が前年度に比して〇・六ポイント増加したこともあって、次年度進学希望者が二・一ポイント減少している。学科別に大学等進学率を比較すると